

■EU：独仏首脳、2050年のカーボンニュートラルなど環境政策の支持を表明

ドイツのメルケル首相とフランスのマクロン大統領は2019年10月16日、EUの政策課題について意見交換を行い、合意内容を発表した。この中で気候変動政策を最重要課題と位置付け、2019年11月に就任予定のウルズラ・フォン・デア・ライエン新欧州委員長が発表している「欧州グリーンディール（European Green Deal）」を支持することを明らかにしている。具体的にはEUとして議論している2050年の長期排出削減目標についてはカーボンニュートラルに賛成で、その実現に向けて排出量取引制度（EU-ETS）への下限価格の導入、気候変動対策を十分に実施していない国に対するWTOルールに準拠した国境調整税の導入、欧州投資銀行（EIB）を通じた「グリーン金融」の強化などの可能性をあげている。